

# Library News



京教図書館 News

2006

12

## 私のすすめるこの1冊・・・笹野恵理子(音楽科 助教授)

### ファウジーヤ・カシンジャ、レイリー・ミラー・バツシャー『ファウジーヤの叫び』

この原稿をお引き受けして、はたしていったいどの本を選んでいいのか、どの本について書くべきか、それはそれは結構悩んだ。自分が読みたい本ならすぐにみつかるものだが、おすすめしたい1冊について書くとなると、なかなか難しいものだ。

そんなことを考えながら、本棚の中をざっとみわたしていると、ずいぶん昔に読んだこの本が目にとまった。世界的ベストセラーとなったこの本の上巻の帯を紹介しよう。

「アフリカ西海岸、トーゴ共和国——幸せだった少女ファウジーヤの人生は、愛する父の死によって一変した。“カキア”と呼ばれる部族の秘儀から逃れた彼女は、亡命を望んで、単身アメリカに渡る。しかし、そこで彼女を待ち受けていたのは、悪夢のような監獄での生活だった。女性性器切除（FGM）を拒否して母国を捨てたファウジーヤは、異国の地で幾多の迫害や苦痛を乗り越えて、自由を勝ち取るために闘っていく。波乱に満ちたその体験を、自らの言葉で語った渾身のノンフィクション。」

迫害を受けている人たち、とくに性差別にもとづく迫害を受けている女性たちのことを知ってほしい、おぞましい慣習の犠牲になっている彼女たちのことを知ってほしい、知らなければ何も行動を起こせないのだから、という気持ちからファウジーヤはこの本を完成させたという。共同著者のレイリーはファウジーヤを支えた弁護人である。

この本を読み終えたとき、この本は、ファウジーヤの鋭い叫びそのものなのだと思えた。女性、難民、社会的弱者といわれる人々の声なき叫びがきこえるようにも思えた。人間の尊厳について深く考えさせられる一書のように思う。

当時この本を読む少し前に、女性性器切除（FGM）を扱ったワリス・ディリー『砂漠の女 ディリー』（草思社）を読んだのだが、この本も是非あわせてお読みいただくことをおすすめしたい。モデルとなり国連大使をつとめるディリーは、本の中で女性性器切除の体験を告白しているが、本を書いた動機はファウジーヤと同じだ。「声なき少女のかわりに、だれが叫んでくれるのだろう。わたしはこうした女性たちのために、自分が声をあげなければと感じるようになった。」

こうした出来事を、遠い異国の出来事と私たちは無関心でいることもできる。しかし、勇気をもって声をあげた人々がのぞんでいるのは、私たちが知ること、関心をよせること、声なき声をきこうとすることなのだろうと思える。

『ファウジーヤの叫び』上・下 著者：ファウジーヤ・カシンジャ、レイリー・ミラー・バツシャー 訳者：

大野晶子 出版年：1999年 ISBN:4789713458, 4789713466

定価：各巻1,680円（税込） 出版社：ソニー・マガジズ 購入手続中

## ■ 図書館からのニュース

### 1. 冬季休業にともなう長期貸出について

下記のとおり長期貸出をしますので、どうぞご利用ください。

対象	院生・教職員	学部生
貸出期間	11月24日(金)～12月13日(水)	12月9日(土)～12月27日(水)
貸出冊数	10冊	5冊
返却期日	1月12日(金)	

\*視聴覚資料は除きます。

\*長期貸出図書については、貸出の延長はできません。

一度返却してから翌日以降貸出の手続きをとってください。

\*一般利用者の方は長期貸出できません。

### 2. 第11回教科書展が終わりました

今年度は「中等教育用教科書(英語編)」と題した教科書展を、11月14日から23日にかけて図書館ロビーで開催しました。明治～昭和戦中期までの教科書62点、英語発音図表2点、昭和戦後期の教科書52点、現代の教科書43点、計159点を展示し、明治から現代までの英語教科書の変遷について紹介しました。期間中は、地域の方々や本学教職員・学生だけでなく、18日のホームカミングデーで母校を訪れた卒業生の方々も多数来館されました。また、最終日の23日はオープンキャンパスも開催され、のべ約300名強の方々を訪れました。

来館された方々は、懐かしい教科書に触れることで、時代や社会の変化に応じての教科書の変遷のありように感じ入ったり、中学校や高等学校時代を思い出したりしていました。「明治・昭和の本を見てすごいと思った」「英語の教員をしているが、昔からの教科書を見て、とても参考になった」などの感想も寄せられました。「毎年開催してください」というご要望にこたえて、図書館では今後も教科書展を続けていきたいと考えています。

### 3. うたとおはなしの会を開催しました

10月29日(日)に附属図書館視聴覚室において「うたとおはなしの会」を開催しました。この催しは、幼児教育科の学生が中心となり、平成14年度から毎年1～2回地域の子どもたちとその保護者を対象に行っていて、今回で第7回目でした。

当日は、保護者・子どもあわせて74名を越える多数の参加があり、会場は熱気に包まれました。プログラムは、幼児教育科の学生達による絵本の読み聞かせや手遊び、秋の歌の合唱、楽器遊び等で、目を輝かせて一生懸命聞き入っている子ども達の姿が印象的でした。



### 4. 京都市立藤森中学校「生き方探求・チャレンジ体験」に協力

11月6日から9日までの4日間、藤森中学校の2年生2名が図書館で勤労体験としてカウンターでの貸出・返却、書架の整理等の実習を行いました。ご協力ありがとうございました。

## ■ 論のくちび理のむすび・・・日比嘉高(国文学科 講師)

(本学の先生方が執筆された論文や著書を自らご紹介いただくコーナーです。毎号掲載予定です。)

「絡みあう「並木」－日本近代文学と日系アメリカ移民の日本語文学－

日比嘉高：京都教育大学紀要 No. 109:p. 154-143, 2006

今年の前期、「日本文学」の授業で日系アメリカ移民の日本語文学について話した。「え、それって日本文学…？」という戸惑いに満ちた空気が、当初数回の教室を占めたものだが、この反応は「普通の」日本文学、文化の教養を身につけた人間の反応として、実はまあまっとうなものである。日本文学といえば、万葉集であって源氏、平家であって漱石であって芥川、三島であって、最近なら村上春樹かな？というのが「常識」であるから。

が、それは不勉強な思いこみである。「日本文学」というとまず「日本」という領域が確固としてあるような気になって考えるが、「日本」が指す範囲は歴史的にも動いてきたし、その文化もまた多様な人・モノ・情報の流入出によって混濁的に形成されてきた。近代における「日本文学」の移動と変容を検証する一つの例として、私はいま、日系アメリカ移民の日本語文学と日本近代文学との関係を考察する課題に取り組んでいる。ここに紹介する論文もその成果の一つである。

日系アメリカ移民の第一世代(一世 issei)は、早い時期から太平洋をまたぐ出版流通網を整備し、「日本語空間」を彼らのコミュニティに創り上げていた。これを背景に、一世の日本語文学が現れる。本論の主たる分析対象は、サンフランシスコの日本語新聞に発表された岡蘆丘の「並木」(1910)という作品である。作品のタイトルは、島崎藤村の同名の小説「並木」に由来する。藤村において「並木」という言葉は、20世紀初頭の東京に生きる人々の心情の比喩として用いられていたのに対し、岡のこの作品では、それは人種差別など厳しい経験をした米国移民を表象するべく奪用されている。両作品の対照から、太平洋をまたいだ「日本文学」の移動の軌跡の一つが浮かび上がる。

「日本文学」は昔も今も、開放系だ。「日本文学」が大和民族の固有の文化的精華だと考える発想は、そのまま愛国心教育に利用されるだろう。スバラシキ日本文化万歳！とか大声で読みたいよね日本語の美しさ、的な発想がいかに多様で曲折に満ちた過去と現在を抑圧しているのか、それに無知な教師にだけはなりたくなく、育てたくない——というのが昨今ニュースを見つつ思いついた当論文の後付け隠しテーマである。

### ～図書館のカウンターから～

## ■ CiNii は便利だけれど・・・トラブルシューティング編 PART 2

1 1月号ではCiNii(サイニイ)の検索結果についてカウンターに寄せられているご質問にお答えしましたが、この号ではさらにOPACで掲載雑誌を検索する上での「困った!」にお答えします。

- Q6. OPACで雑誌名を検索したら、いっぱい結果が出てきた。「絞り込み検索」と書いてある欄に著者名を入れて「絞り込み」ボタンを押してみたら、「該当する書誌はありません」と出た。やっぱりないの?
- A6. OPACで雑誌を検索するときは「タイトル」以外は使えません。検索画面で「雑誌」を指定するか、雑誌名の単語を増やして検索して下さい。

- Q7. OPAC で探している雑誌が出てきたけど、いったいこの雑誌はどこにあるの？
- A7. OPAC の検索結果一覧で目的の雑誌名をクリックして下さい。大学内にある巻号と配置場所が確認できます。
- Q8. OPAC で出てきた雑誌の配置場所には書庫 3F とあるけど、それってどこ？
- A8. 図書館配置雑誌のバックナンバー(過去に出版された号)は、図書館内の書庫に置いてあります。書庫の入口は北館 1 階にあります。(グループ学習室の入り口の横) 和雑誌は書庫 1F、洋雑誌は書庫 4F、大学や研究所が出した雑誌(紀要類)は書庫 3F に置いてあります。

## ■ 図書館開館スケジュール

( 通常 )  
**開館時間 : 9:00**  
**閉館時間 : 21:00**  
 一部期間は17:00に閉館します。  
 下記カレンダー「～17:00」と記載

**12**

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
					1	2 ～17:00
3 休館	4	5	6	7	8	9 ～17:00
10 休館	11	12	13	14	15	16 ～17:00
17 休館	18	19	20 整 休館	21	22	23 祝 休館
24 休館	25 ～17:00	26 ～17:00	27 ～17:00	28 休館	29 休館	30 休館
31 休館						

**1**

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
	1 祝 休館	2 休館	3 休館	4 休館	5 ～17:00	6 休館
7 休館	8 祝 休館	9 ～17:00	10	11	12	13 ～17:00
14 休館	15	16	17	18	19 試 休館	20 試 休館
21 休館	22	23	24	25	26	27 ～17:00
28 休館	29	30	31			

12 / 23 (土) は、祝日のため休館します。  
 12 / 20 (水) は、館内整理のため休館します。  
 12 / 28 (木) から 1 / 4 (木) の間は冬季休業の  
 休館します。

1 / 8 (月) は、祝日のため休館します。  
 1 / 19 (金)、1 / 20 (土) は入学試験のため休館  
 します。

京教図書館 News No. 75 2006年12月号  
 編集発行：京都教育大学附属図書館  
 発行日：平成18年12月1日  
 内容に関するお問い合わせ先：  
 附属図書館 (内線 8179)



京都教育大学

